建築研究所ニュース

令和８年１０月５日

第４回シンポジウム「ここちよさを伝える新しいものさしを考えよう」の開催
～室内環境の良さを伝える指標作成に向けた意見交換会～

建築研究所環境研究グループは、住宅・小規模非住宅建築物の室内環境を分かりやすく評価する新たな指標の検討を目的とした第４回シンポジウム「ここちよさを伝える新しいものさしを考えよう」をオンラインにて開催します。

令和７年４月より省エネ基準適合が全面義務化され、エネルギー性能に関する指標として、一次エネルギー消費量やBEI、外皮性能としてはU_A値やη_A値、表示制度としてはZEHやBELSなど、様々な性能指標が整備されてきました。一方、温熱環境、光・視環境といった室内環境の良さや、土地や相隣条件が与える影響については、依然として住まい手にとって分かりやすい評価軸が不足しています。

本シンポジウムでは、室内環境の研究や住宅設計の第一線で活躍する専門家を招き、今、現場で求められている「ここちよさの指標」とは何か、良質な室内環境をどのように分かりやすく伝えるかについて、講演およびパネルディスカッションを通じて議論を深めます。

皆様の考える「ここちよさの指標」について、ぜひご意見をお寄せください。

１．開催の背景

当研究所では令和７年度より、研究課題「相隣環境を考慮した良質な室内環境の設計に資する評価指標と計測手法の開発（令和７～９年度、研究代表：上席研究員　三浦尚志)」を開始し、住宅・小規模非住宅建築物における室内環境の良さを生活者が理解しやすい形で示す評価指標の構築を目指しています。本シンポジウムはその第一歩として、専門家・実務者・研究者が横断的に意見交換し、「誰もが使える・分かる室内環境の新しいものさし」の検討を進める場として開催します。

２．開催概要

日　時　：令和８年 11 月 10 日（火）17 時 00 分～19 時 00 分
　　（16 時 50 分からウェビナー入室開始予定）
開催方法：オンライン開催（Zoom ウェビナー）
参加費　：無料
主　催　：国立研究開発法人 建築研究所 環境研究グループ
申込方法：以下の URL または QR コードより事前にお申込みください。事前申込者には、当日の録画を期間限定で配信する予定です。
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN__4xW90RpTKqJimXad5aFtA

３．プログラム

17:00～17:10 開会・趣旨説明　三浦尚志（国立研究開発法人 建築研究所 上席研究員）
「本シンポジウム開催の狙いと参加者への室内環境指標に対するご意見のお願い」

17:10～17:30 **田辺新一氏（早稲田大学創造理工学部建築学科 教授）**
「「夏のここちよさと安全をどう測るか」
–暑熱・湿度・熱中症から考える室内環境の評価方法–」
高温多湿化する夏の住宅では、室温だけでなく湿度、気流、放射、行動や適応を含めて室内環境を捉える必要がある。本講演では、温熱快適性と健康・熱中症リスクの観点から、夏の「ここちよさ」と安全性を評価する指標を整理し、高断熱住宅における湿度・除湿の課題も含め、今後の室内環境評価のあり方を考える。

17:30～17:50 **都築和代氏（関西大学 環境都市工学部 建築学科 教授）**
「エアコンタイマーや異なる換気が寝室温熱環境と睡眠や体温へ及ぼす影響」
高気密・高断熱住宅には機械換気が義務付けられているが、温熱環境についての定めはなく、居住者が好みの環境をつくることができる。しかし、睡眠中のエアコン使用はエネルギー節約に反すと感じ、不健康とジレンマに陥ることもある。デシカント換気が備えられた住宅でエアコン使用を制御したときの寝室温熱環境や睡眠中の人体への影響を概説する。

17:50～18:10 **竹中啓氏（建築研究所 環境研究グループ 交流研究員）**
「家庭用ルームエアコンの除湿方式について」
住宅の高気密・高断熱化により顕熱負荷が低下する一方、換気や室内発湿による潜熱負荷は残存し、冷房負荷の低SHF化が進んでいる。そこで、家庭用ルームエアコンにおける各除湿方式の仕組みと特徴、ならびに顕熱・潜熱処理特性の違いを整理し、住宅の時刻別・居室別負荷との照合を通じて、負荷条件に応じた各方式の適用性を検討する。

18:10～18:55 パネルディスカッション
田辺新一氏・都築和代氏・竹中啓氏
進行：三浦尚志

18:55～19:00 連絡事項・閉会

４．今後の展開

本シンポジウムで寄せられたご意見は、今後の研究及び指標の具体化に向けた重要な参考情報として活用します。

（参考）本研究のプロジェクトサイト
https://www.kenken.go.jp/japanese/research/env/R7monosashi/monosashi.html

【お問い合わせ先】
国立研究開発法人 建築研究所
（内容について）
所属　　環境研究グループ
氏名　　三浦尚志・熊倉永子
E-mail info-monosashi@kenken.go.jp

（建研公式Xについて）
新着情報や研究等の取り組みに関する情報を発信しております。ご興味がありましたら、フォローお願いいたします。
https://x.com/kenken_BRI